RT7

オープンプラットホーム

今回のイベントの案内文章には、**「職種や地域、NPO 法人ウェルビーイングの会員・会員外問わずに、一緒にヘルスプロモーション、地域保健、住民参加、予防歯科などについて自由にディスカッションできる楽しい交流の場になる予定です。」**とありました。過去 2 回（福岡・川崎）のイベントでも同様なラウンドテーブルや協議が行われましたが、今回は歯科医師の他に、市民団体（福祉住環境コーディネーター）の方、ウェルビーイングとは異なる NPO 法人（福岡すまいの会）に所属される方、歯科大学学生等、まさに他（多）職種なメンバーで行われました。

まずは、自己紹介から始まり、それぞれのルーティンの活動／これから進めていきたい活動や、悩みを共有した上でテーマを決めていきました。その中で出てきたのが**「他組織との連携」**についてでした。

専門家としてできることをするのは当たり前だが、どうしても活動が広がってくると自分達だけでは対応することができなくなってくる。そのときに、専門外のものをいくら自分達だけで熟考しても解決策はでてこない。

そんなときこそ、自分達だけではできないところを他の専門家と連携していけばいい。イメージでいうと、「点」が「線」になる感じ。さらに他の広がりが生まれると「線」が「面」になり、「面」が「立体（空間）」になる可能性を秘めている。また、人々の「健康」を目指しているのであれば、どこかで必ず繋がれるはずだ。

場合によっては、解決策はあっても方向性（道筋）が定まらないことがある。そんな時に助けになるのが**「連携」**や、それまでに培ってきた**「ネットワーク」**になると思う。さらに、活動が広がっていけば、必ず行政との関わりも重要になってくる。行政に自分達の活動を解ってもらい、繋がりをもつには、まずは実績を積むことが大事である。

今回のラウンドテーブルが参加者にとって、**「人、団体、ものが自由に集まり、交流し、知恵や勇気、パワーを補充し、自分のフィールドに戻っていったり、別の地点へ旅立っていけるような、みんなが集える場」**というオープンプラットホームの根底の部分を共有できる企画となったのであれば幸いです。

Copyrightc2007 Well-Being(NPO),All rights reserved

今後の展開として悩みを共有するという「駆け込み寺」的な場もいいが、それぞれが行っている活動報告（今回の「つまようじ法」のラウンドテーブルのようなもの）も増やしていければいいなと思っています。次回のイベントでは、形が整えば、ミニ学会（もちろん自由集会もアリ）構想はどうかとも提案したいと思っています。それぞれの思いを持ってまた関西でお会いしましょう！

結論

今回の集まり自体がオープンプラットホームの一つの形であると考える。夏には関西でのイベントを企画していますので、今回、共有した悩みや解決策をもってまたお会いしましょう。

Copyrightc2007 Well-Being(NPO),All rights reserved